

平成 20 年度燧灘卵稚仔調査

第 6 回

平成 20 年 7 月 7 日

カタクチイワシ卵の出現状況（燧灘）

前回及び前年同期と比べてかなり多かった。

前年	平成 19 年 7 月 3 日（7 点の平均）	11.29 個
前回	平成 20 年 6 月 12 日（17 点の平均）	13.24 個
今回	平成 20 年 7 月 1 日（6 点の平均）	42.67 個

カタクチイワシ稚仔魚の出現状況（燧灘）

前回より減少し，前年同期と比べて多かった。

前年	平成 19 年 7 月 3 日（7 点の平均）	1.14 尾
前回	平成 20 年 6 月 12 日（17 点の平均）	12.59 尾
今回	平成 20 年 7 月 1 日（6 点の平均）	5 尾

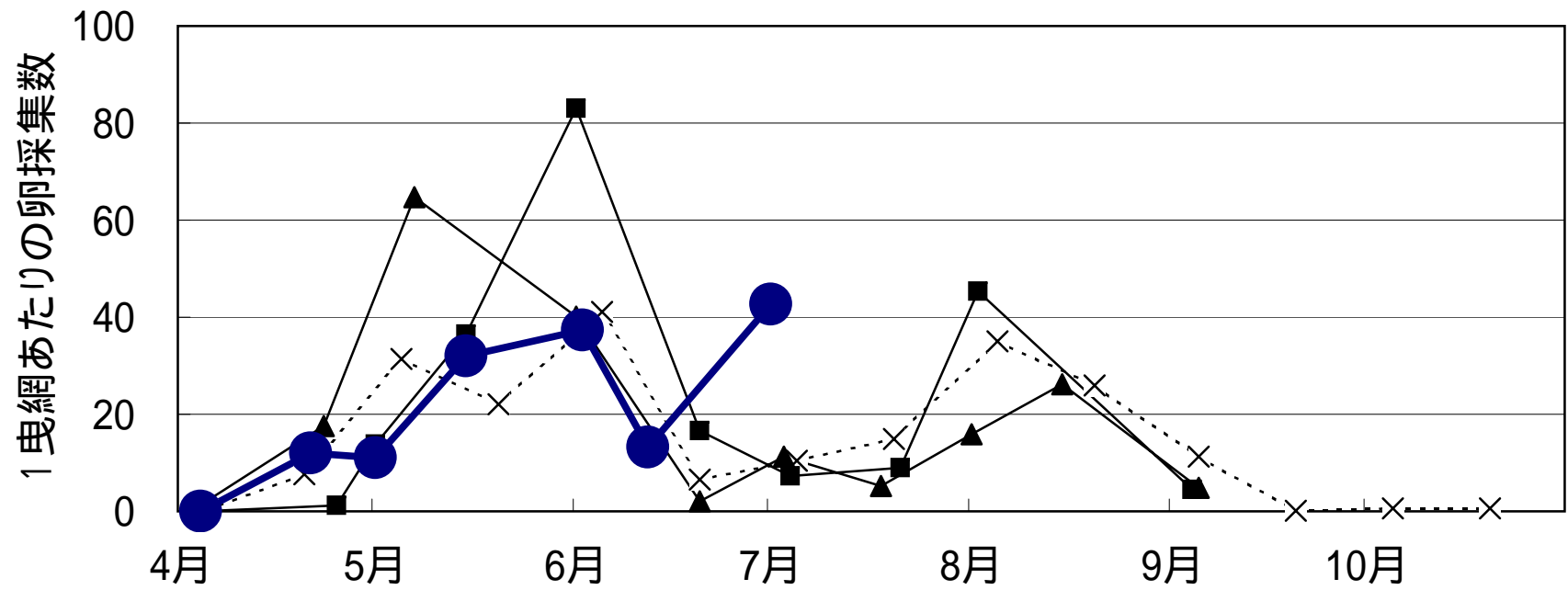
プランクトン調査（燧灘）

全定点を通じて優占種はウミタルと管クラゲ類であった。餌として価値のあるカイアシ類は非常に少なかった。

魚探調査（燧灘）

定点を含む調査経路上では，大きな魚群は確認されなかった。

次回の調査は 7 月 16 日（水）に実施予定



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況

...×... 平均値 (H5-H19) —■— 平成18年 —▲— 平成19年 —●— 平成20年

平成20年度浅海定線卵稚仔調査(6回目)

7月1日(燧灘、備讃瀬戸),2日(播磨灘)

ST	曳網水深	カクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔	
燧灘	H2	20	122	0	5	16	0	6
	H3	20	48	0	4	4	0	0
	H4	20	2	0	0	0	0	7
	H5	20	0	0	2	0	0	1
	H6	20	10	0	3	1	0	1
	H7	20	74	0	12	9	0	2
	燧灘合計		256	0	26	30	0	17
備讃瀬戸	9	10	2	0	4	0	0	2
	10	10	0	0	6	0	0	1
	11	30	1	0	19	0	0	4
	12	20	2	0	18	0	0	6
	13	10	0	0	5	0	0	0
	14	10	5	0	4	1	0	0
	17	20	0	0	3	0	0	0
	18	20	0	0	9	0	0	1
	19	10	0	0	2	0	0	0
	20	10	0	0	4	1	0	0
	21	20	0	0	3	0	0	3
	22	20	0	0	3	0	0	2
	23	30	0	0	5	0	0	2
	26	10	2	0	2	0	0	1
SH1	10	0	0	3	0	0	1	
備讃瀬戸合計		12	0	90	2	0	23	
播磨灘	1	30	3	0	2	1	0	5
	2	30	58	0	73	6	0	6
	3	30	7	0	56	4	0	6
	4	30	2	0	50	4	0	10
	5	30	44	0	13	12	0	10
	6	30	37	0	19	0	0	53
	7	30	2	0	17	1	0	13
	HK1	20	15	0	16	3	0	2
播磨灘合計		168	0	246	31	0	105	
燧灘平均		42.67	0.00	4.33	5.00	0.00	2.83	
備讃瀬戸平均		0.80	0.00	6.00	0.13	0.00	1.53	
播磨灘平均		21.00	0.00	30.75	3.88	0.00	13.13	
香川県合計		436	0	362	63	0	145	
香川県平均		15.03	0.00	12.48	2.17	0.00	5.00	